



くまもとの風土と文学

Climate and Literature of Kumamoto



北原白秋は玉名郡南関町の母の里で生まれました。
 阿蘇は文学の宝庫です。国木田独歩の「忘れえぬ人々」、夏目漱石の「二百十日」、三好達治の「艸千里」、草野心平の「阿蘇山」、梅崎春生の遺作「幻化」、松本清張も「山峡の章」など阿蘇を舞台にしたミステリーを書いています。
 「日本談義」を発行した荒木精之は南阿蘇村生まれ、父祖の地は菊池です。田原坂は西南戦争の激戦地で、多くの文学に描かれました。

「孝女白菊」



阿蘇をミステリーの地にした松本清張

「二百十日」